

第2回やおい/BLシンポジウム

JUNE小説を 書く女性たち

「中島梓の小説道場」の時代

大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」

第75回「コンフリクトの人文」セミナー

1980年代に雑誌『JUNE』に連載された「中島梓の小説道場」は、小説家・評論家の栗本薫＝中島梓が、男同士の恋愛を描いた投稿小説を批評する人気コーナーでした。このシンポジウムでは、多くの投稿者の創作活動を支えた「小説道場」をととして、女性が社会の中で生きる上で、創作行為がどのような意味を持ちうるのかを考えます。

■申し込み方法

参加希望の方は、氏名・職業・年齢・メールアドレスを明記の上、**9月25日（日）**までにお申し込みください。申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。

■申し込み/問い合わせ

第2回やおい/BLシンポジウム事務局
yaoibl.symposium@gmail.com



■アクセス

大阪大学（豊中キャンパス）
阪急電車宝塚線「石橋駅」
下車 東へ徒歩約15分
大阪モノレール「柴原駅」
下車 徒歩約15分

■日時：2011年10月2日（日）14:30～17:30（開場14:00）

■会場：大阪大学（豊中キャンパス）大学教育実践センター研究棟 I
2階 スチューデント・コモンズ セミナー室 1

■要申込、入場無料

■主催：大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」

■共催：大阪腐女子研究会

■登壇者（五十音順）

石田美紀（新潟大学准教授）

佐川俊彦（京都精華大学准教授/元『JUNE』編集長）

西原麻里（同志社大学嘱託講師）

野村史子（文筆業）＝中野冬美（カウンセラー/女性のための
街かど相談室ここ・からサロン共同代表）

■質問者

富山一郎（大阪大学大学院教授）

■司会

東 園子（大阪大学大学院助教）